



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



主日の説教

今日のみことば

2020年8月9日 年間第19主日A年

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：列王記上19章9a、11-13節

第二朗読：ローマの信徒への手紙 9章1-5節

福音朗読：マタイによる福音書14章22-33節

今日のテーマ：^{とまど}戸惑いの中に^{なか}一緒に^{いっしょ}いてくださる神^{かみ}

三つの朗読から

三つの朗読から見えてくるのは、あれかこれかと惑う人間の現実です。

第一朗読の預言者エリヤは、自分の使命としてイスラエルからバアルの信仰を取り払うことを決意します。カルメル山でバアルの預言者たちに勝利をおさめますが、バアルの礼拝者である王妃イザベルからいのちを狙われます。エリヤは南の荒れ野へと逃れ、自分の信念がゆらぎ始め、「主よ、もう十分です。わたしの命を取ってください」（列上 19 章 4 節）と死を願います。使命と自分のいのちの間で惑います。そんな折、神のことばがエリアにささやきかけます。

第二朗読でもパウロは惑っています。先週の朗読箇所で「どんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです」（ロマ 18 章 39 節）と宣言したパウロは、今日の朗読箇所では「同胞のためなら、キリストから離され、神から見捨てられた者となってもよい」（19 章 3 節）とまで語ってしまいます。キリストによる救いか、同胞の救いかで惑います。そして、キリストを否定した同胞であるユダヤ人たちのために悲しみ、苦しんでいます。

福音朗読では、ペトロに代表されるお弟子さんたちもまた惑っています。舟は強い風の中、漕ぎ悩んでいます。イエスさまに「来なさい」といわれてペトロは水の上を歩き始めますが、急に恐れにとらわれて、沈みそうになります。イエスさまのもとに行きたいという思いと、風

と水による^{おそ}恐ろしい^{げんじつ}現実の中でペトロの心は揺れ^ゆ動く^{うご}のです。しかし、イエスさまは「すぐに手を伸ばして捕^{つか}まえ」てくれました(マタ 14 章 31 節)。惑い、乱れる人間の^{まど}こころの中にイエスさまはしっかりといてくれるのです。ですから、エリヤのように、またペトロのように助けを求めて^{もと}叫ぶ^{さけ}ことが大切^{たいせつ}となります。

今週の聖句

^{しゅ}主よ、あなたでしたら、……。 (マタイ 14 章 28 節)

直訳は「主よ、もしあなたなら、わたしが水の上をあなたの^{まえ}前に行くように命じてください。」です。「もしあなたなら」は二つの^{りかい}理解の^{かのうせい}可能性を秘めています。一つはペトロが湖上^{こじょう}の人影^{ひとかげ}をイエスかどうか疑^{うたが}って「主よ、本当にあなたでしたら」という意味と、「主よ、あなたでしたか、では水の上をあなたの前に行くようにわたしに命じてください」という意味です。恐らく後^{おそ}者^{ごうしや}の方^{りかい}の理解がよりふさわしいでしょう。なぜなら、お弟子^{のち}さんたちは後にイエスを「あなたは神の子です」と^{しんこう}信仰告白するからです(32 節参照)。しかも、26 節ではイエスさまのことを「幽霊^{ゆうれい}」だと「^{おび}怯え」(フランシスコ会訳)ています。つまり、イエスさまを幽霊だと判断^{はんだん}したのではなく、むしろ判断力^{はんだんりよく}が鈍り、幽霊のように見てしまったのです。お弟子^{おそ}さんたちは恐怖^{きょうふ}のあまり、信仰^{しんこう}が弱^{よわ}くなってしまっているのです。お弟子^{おそ}さんたちに恐れを生じさせたのは「強い風」と「水」です。「来なさい」と呼びかけるイエスさまの方^むを向^{つづ}き続けていればよかったのですが、恐れで目線^{めせん}を足下^{あしもと}の水に向^{しず}けてしまって、「沈みかけ」(30 節)てしまうのです

^{しんこう}信仰の^{うす}薄い^{もの}者よ、なぜ疑^{うたが}ったのか。(マタイ 14 章 31 節)

「疑^{うたが}う」はギリシア語でディスタゾーといひます。これは^に二度と^か二重^{にじゆう}を表す^{あらわ}ディスということばから派生した動詞です。元来の意味は「あることに関して二番目^{べつ}の(別)の^{かんが}考えを^だ抱く」となります。そこから、「疑^{うたが}う」という意味が生まれていきました。

ペトロは水の上を歩いてイエスさまのもとに行きたいと単純^{たんじゆん}に願^{ねが}ったのでしょう。しかし、「強い風に気がついて怖^{こわ}くなり」ました。ペトロの中に生じた、行きたいという思いと、怖^{こわ}いという思いの二つが生じたのがディスタゾーの^{じゆうたい}状態となります。しかし、ペトロは「主よ、助けてください」と叫^{さけ}ぶことができました。それはペトロをはじめとするお弟子^{おそ}さんたちに小さな^{しんらい}信仰(イエスさまを信賴する^{しんらい}ところ)があったからです。